

富士山憲章 NewsLetter

2019
3

No.128

富士河口湖町 河口湖畔から見た逆さ富士

第16回 富士さんへ謹賀新年～富士山あて年賀状～

富士山ボランティアセンターでは、富士山の環境保全に向けた意識や関心を深め、美しい富士山を将来にわたり守り引き継ぐことを決意した「富士山憲章」の普及定着を図るため、富士山にあてた年賀状を募集しました。44都道府県から過去最多となる1861点の応募があり、厳正な審査の結果、**最優秀賞1点、審査員長賞1点、富士山憲章賞1点、審査員特別賞2点**を含めた入選200点を決定いたしました。

審査員

- 審査員長** 櫻井 孝美 氏（安井賞受賞画家）
- 審査員** 松島 仁 氏（静岡県富士山世界遺産センター 教授）
- 百瀬 淳一 氏（山梨県立美術館 主査・教育主事）
- 五十嵐 哲也 氏（富士技術支援センター 主任研究員）
- 鈴木 文晃 氏（富士技術支援センター 主任研究員）
- 小倉 良二 氏（山梨県立富士山世界遺産センター 副所長）

審査員総評

- ◆ 1861点という多くの年賀状の中から200点を選び、また、その中から20点に絞り込む選考は難しいものであった。年賀状200点にはさほどの差はなく、選外作品にも心惹かれるものがあったが、それぞれのコンセプトがはっきり出された作品が入賞に選考された。
- ◆ 1861点、日本全国からの謹賀新年。幼稚園児から御高齢者まで、富士山への想いを一枚に込めていただいた。モノトーンから極彩色、版画、パッチワークまで、富士山のさまざまな表現を楽しむことができた。世界遺産富士山はまさに【芸術の源泉】だと実感。
- ◆ 作品を拝見しながら、富士山が無数の人びとの人生と結びついていることを感じながら楽しく審査させていただいた。初夢、子供のころの思い出など、様々な切り口があったことにも感心した。

最優秀賞



渡邊 みくる

(山梨県・小学生低学年以下の部)

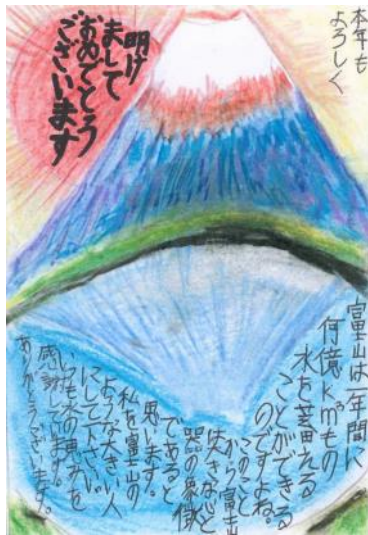
審査員長賞



米山 いおり

(山梨県・中学生の部)

富士山憲章賞



三浦 惇平 (山梨県・中学生の部)



中宗 香住 (奈良県・一般の部)

審査員特別賞

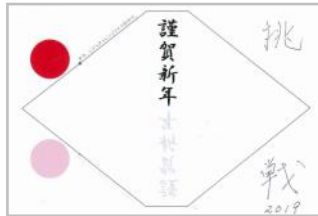


内田 菜月 (山梨県・中学生の部)

企画賞



土屋 久美 (山梨県)



三石 康雄 (千葉県)



勝又 和歌子 (山梨県)

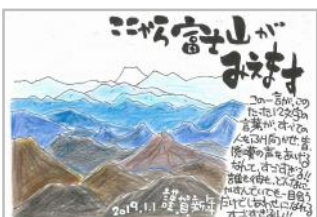


渡辺 帆乃香 (山梨県)



萱沼 ななみ (山梨県)

メッセージ賞



改発 利佳 (神奈川県)



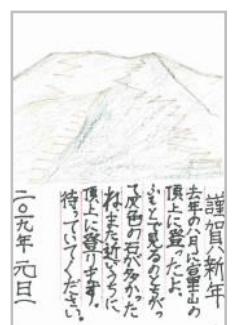
中西 千鶴 (福岡県)



吉本 悠輝 (山梨県)



森 悠仁 (大阪府)



渡辺 結晟 (山梨県)

表現力賞



森 美紀子 (東京都)



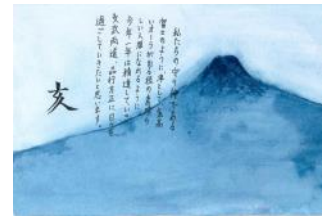
藤原 昌代 (兵庫県)



竹内 こみつ (滋賀県)



渡邊 甲惟 (山梨県)



武藤 苺香 (山梨県)

富士山憲章 活動報告

富士山憲章 国道清掃キャンペーン

本年度の「富士山憲章 国道清掃キャンペーン」は、富士山クラブが実施する「ぐるり富士山風景街道一周清掃2018」と連携を図るなかで11月23日の勤労感謝の日に実施しました。

当日は、県内外から181名のご参加をいただき、「道の駅富士吉田」の芝生広場で行われた開会式では、アルピニスト野口健氏のあいさつに続いて、女優の若村麻由美氏と参加者全員による「富士山憲章」の唱和などが行われました。

その後4つのグループに分かれ、私たちのグループは国道138号沿いの富士見公園から忍野入口までの間の清掃活動に取り組みました。車から投げ捨てられたたばこの吸い殻、空き缶・ペットボトルから、不法投棄された古タイヤや鉄の棒など、回収したゴミの総重量は700kgにもほり、また、歩道に堆積した落ち葉や土砂等も片付けられ、清掃活動を終えた歩道は、見違えるほど綺麗になりました。

今後、世界遺産である富士山を後世に引き継いでいくため、富士山憲章の

普及・定着を図る活動を行うとともに、富士山の自然環境の保全に向けて一人ひとりが積極的に行動できる取り組みを進めて参ります。



国道138号線の歩道にてゴミ拾いしている様子



清掃活動中回収したゴミの一部

「富士山の日」街頭キャンペーン

2月23日は何の日かご存知でしょうか。山梨県では、日本の象徴である富士山の豊かな自然・美しい景観、富士山に関する歴史・文化を後世に引き継ぐことを期する日として、平成23年、この日を「富士山の日」と決めました。

22日(金)、「富士山の日」と「富士山憲章」をより多くの方々知ってもらうため、JR甲府駅、富士急行富士山駅・河口湖駅において、「富士山の日」街頭キャンペーンを実施しました。

キャンペーンには、知事をはじめ、県議会、関係市町村、地元関係者の参加のもと、駅を利用する皆様に、富士山の絵柄の入った日本手拭いや富士山憲章が書かれたクリアファイルを配布いたしました。このうち、外国人旅行者が多い河口湖駅では、富士山憲章が英語や中国語で書かれたクリアファイルも配布し、多くの外国の方々にも、富士山の自然、景観、歴史・文化を知っていただく良い機会となりました。

今後とも関係団体と連携を図りつつ、「富士山の日」の趣旨に則り、富士山を後世に引き継ぐための活動に引き続き取り組んで参る所存です。

富士急行富士山駅での開始式



JR甲府駅での配布の様子



富士急行河口湖駅にて配布

2018年10月～2019年1月
富士山レンジャー活動報告

古タイヤ等不法投棄防止
集中キャンペーン



不法投棄防止キャンペーン開会式

11月20日(火)に富士山世界遺産センターにおいて不法投棄防止のキャンペーンが開催されました。
北麓の市町村や山梨県の担当者が参加し、来館者の方々に不法投棄防止を呼びかけました。
当日は、富士山レンジャーが発見した不法投棄の写真パネルを展示し、現状について、来訪者のみなさまにご覧いただきました。写真の説明を聞いた人のなかには、林の中などに捨てられた古いタイヤなど、不法投棄の異様にショックを受ける方もたくさんいらっしゃいました。

不法投棄がいまだに行われていることが広く知れ渡り、多くの人が不法投棄防止に対する関心を持つようになってほしいと思います。そして少しでも不法投棄が減り、いつかはゴミゼロになることを切に願います。



不法投棄防止キャンペーン会場で
古タイヤ不法投棄の写真を展示

富士山レンジャー写真展アンケート

7月号でお知らせしたとおり、富士山レンジャー写真の巡回展示を行っています。10月から1月は富士山レーダードーム館、河口湖ショッピングセンターベル、甲府市立図書館、御殿場樹空の森で行いました。
各会場でアンケート箱を設置し、会場へ訪れた方々に記入いただいたコメントをご紹介します。
●自然の生物や植物の美しさに感動した。
●富士山の自然の豊かさ美しさを改めて思い、私たちの大切な宝物だと感じた。

●ゴミの多さはどうにかならないか。
●ゴミの写真はもっと多くの人に知ってほしい。
●大事にしようとする心をもって富士山に接してほしい。



レンジャー写真展(11月21日)@甲府市立図書館

富士山青木ヶ原樹海等
エコツアーガイドライン推進協議会

12月7日(金)にエコツアーガイドライン協議会が開催されました。エコツアーガイドライン協議会とは、青木ヶ原樹海などの自然環境を保全し、かつ適正に利用する目的で設立され、対象エリアを利用する団体や事業者と学識経験者、関係行政機関によって構成されています。

今年度は、新しく加入した事業者の承認や、各団体の活動状況報告、ガイドラインの遵守状況の確認などがされました。富士山レンジャーは

毎回、樹海での巡回記録をまとめ、利用状況や問題行為の有無などの報告をしています。
今年度は会議に先立ち、大室樹海での現地研修会も開催され、秋の台風による倒木の処理の問題や、樹皮はがしの問題、富士風穴入洞のルールなどについて課題の共有を図りました。



エコツアーガイドライン推進協議会



エコツアーガイドライン推進協議会研修会

八面玲瓏

富士の曲線



カテナリー曲線（懸垂曲線）

私たちが見ている美しい富士山の魅力として考えられるものの一つに、曲線美があるのではないのでしょうか。富士山の曲線を調べてみると、ロープやひもなどの両端を持って垂らしたときに見える曲線の形『カテナリー曲線』だという説があるようです。

この曲線は身近なところでも見られます。例えば電柱と電柱をつなぐ電線の形。この形は建築物でも用いられ、神社や寺の屋根の曲線であったり、形を反転したものが、橋のアーチになつていたりします。では実際に鎖と富士山の形を比べてみます。（写真右、写真下参照）富士山憲章の新人職員、渡邊氏と半田レンジャーに協力してもらい、富士山世界遺産センター2Fにて撮影してみました。その部分が少しおれているとは思いますが何となくあっているような気がしませんか。



鎖と絆

『カテナリー曲線』の命名者は、オランダの科学者『クリスティアーン・ホイヘンス』です。カテナリーとはラテン語で、『鎖（くさり）』や『絆（きずな）』の意味です。もしかして富士山の曲線が美しいのは、それが多くの人々の手をつなぐ鎖であり、人々の絆を心の中で無意識のうちに感じているからかもしれません。みなさんも一本のひもや、鎖を用意して富士山を眺めてみてください。どうでしょう、『絆』は見えましたか。



か。八面玲瓏（ハチメンレイロウ）と言われる富士山ですので、色々な場所から試してみたいかがでしょうか。いつまでも美しい富士山の姿をみなさんと共に守っていかれたらと思います。



今回、半田レンジャーが着用している富士講の行衣・菅笠は山梨県立富士山世界遺産センター（北館）インフォメーションカウンターにて無料貸し出ししております。館内2Fに撮影用記念パネルがありますので是非ご利用ください。※3月下旬で展示内容が変更になる場合がありますのでご了承ください。

今回、協力頂いた原田さん有難うございました。（吉成）

富士山世界遺産センターだより9号

富士山世界遺産センターの調査研究活動について報告します。

前々号(センターだより7号)でお伝えしたとおり、当センターでは、イコモスから提示された課題である巡礼路の特定に向けた調査を継続して行っております。その成果の場として、冬期企画展「吉田口登山道の騾ケ馬場(りゅうがばば)と流鏑馬(やぶさめ)」を開催しました。吉田口登山道の中ノ茶屋近辺に存在した騾ケ馬場という場所は、古来神聖な結界の地であるとされ、流鏑馬の奉納が行われていたと伝わっています。

これは後に勝山・下吉田両所の流鏑馬神事に、形を変えて現代まで継承されています。本企画展では、流鏑馬の昔と今の様子を手がかりに富士山にかかわる信仰の場や神事について紹介しました。



2019年1月1日(火) ~ 2月25日(月) 山梨県立富士山世界遺産センター

また、3月16日には「勝山と下吉田の祭礼」と題して講座を予定しています。企画展の展示を進めるなかで新たに発見した事象を、みなさまに紹介します(詳細は下記)。



そのほかに、富士山麓の溶岩洞穴の信仰に関する調査を行っています。この成果は、次年度の企画展や富士山講座で紹介する予定です。



▲「富士一山北口明細御絵図面」



◀「下吉田の流鏑馬祭」



▶勝山の里宮

世界遺産富士山講座「勝山と下吉田の祭礼」

- ◇日時 3月16日(土) 午後1時30分~3時
(受付は午後1時から)
- ◇会場 富士山世界遺産センター 南館 富士山ステーション
- ◇内容 勝山と下吉田の両所で執り行われている祭礼を通じて、富士山の信仰の場について紹介します。
- ◇講師 センター学芸員 堀内 眞
- ◇参加費用 無 料
- ◇参加方法 事前申し込みは不要です。

世界遺産富士山講座

富士山世界遺産センターでは、世界遺産富士山の歴史・文化・自然について調査・研究を行い、その成果を新たな富士山の魅力として紹介します。

4/21	「勝山」と富士山	堀内 眞	(山梨県立富士山世界遺産センター)
5/19	次と富士山(山梨県教育委員会)	松本 雅	(山梨県立富士山世界遺産センター)
9/16	浮城と山梨の歴史	松川 洋 高	(東京工業大学)
9/15	「林コノケ」の歴史	大塚 孝	(山梨県立富士山世界遺産センター)
10/20	富士山麓の歴史	堀内 眞	(山梨県立富士山世界遺産センター)
11/17	富士山の歴史	堀内 眞	(山梨県立富士山世界遺産センター)
1/19	富士山麓の歴史	堀内 眞	(山梨県立富士山世界遺産センター)
3/16	勝山と下吉田の祭礼	堀内 眞	(山梨県立富士山世界遺産センター)

◆時 間: 13:30~15:00 (受付は13:00から開始します)

◆場 所: 富士山世界遺産センター 南館 3階 (富士山ステーション)
(富士山世界遺産センター)

◆お申し込み: 無料

◆お問い合わせ先:
山梨県立富士山世界遺産センター
調査研究スタッフ
富士山世界遺産センター
TEL: 0550-72-2314 / FAX: 0550-72-2317

第16回 富士さんへ謹賀新年～富士山あて年賀状～入賞・入選作品展

以下の日程で、入賞・入選作品200点の作品展を行います。富士山への様々な思いのつまった年賀状をぜひ会場でお楽しみください。

- 3月 4日(月)～3月17日(日) なかとみ和紙の里 現代工芸美術館(身延町)
- 3月18日(月)～3月31日(日) ラザウォーク甲斐双葉(甲斐市)
- 4月 2日(火)～4月14日(日) ふじさんミュージアム(富士吉田市)
- 4月15日(月)～5月 7日(火) 河口湖ショッピングセンターBELL(富士河口湖町)
- 5月 8日(水)～5月19日(日) 四季の杜おしの公園 小池邦夫絵手紙美術館(忍野村)
- 5月20日(月)～6月 2日(日) 山中湖花の都公園(山中湖村)
- 6月17日(月)～6月30日(日) 道の駅なるさわ(鳴沢村)
- 7月31日(水)～8月30日(金) 山梨中央銀行本店(甲府市)

※各会場の休業・休館日や開館・営業時間に関しては、各会場にお問い合わせください。

※展示開始日・最終日は、搬出入の関係上、午後からの展示、午前中までの展示となる場合がございます。

富士山環境学習支援プログラムのお知らせ

富士山ボランティアセンターでは、多くの方が富士山とふれあい、知識を深め、富士山を愛する心や環境保全の意識を育むことを目的とした、富士山レンジャーによる富士山学習の支援事業を実施しております。交通費や謝礼は一切必要ありません。各種研修にぜひご活用ください。

実施日・時間 原則として平日の毎日(年始年末を除く) 9時30分～16時30分の時間のうち30分～

対象 地域住民、各種団体、企業等、児童、生徒、学生(教員向け研修もあります)

定員 最大60名まで

申込み 原則として希望日の1か月前までにお申込みください。

所定の申込書に必要事項を記入の上、FAX、郵送またはE-MAILにて送付してください。

申込書につきましては、以下のURLよりダウンロードできます。

<http://www.yamanashi-kankou.jp/fujisan/manabo/manabo001/index.html>

その他

- ・ 事前の打合せや下見等が必要になる場合があります。
- ・ 業務の都合上、希望日に実施できない場合があります。実施時間、定員に関しては規定外でも相談に応じます。
- ・ 申込み、問合せおよび打合せは責任者が行なってください。旅行業者等による代行は認めません。

富士山憲章 (行動規範)

- 一 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 一 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 一 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 一 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 一 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

平成10年11月18日 山梨県・静岡県

富士山憲章は、富士山の自然環境等の保全の理念や環境保全のための行動規範を示すことにより、富士山の環境保全への協力を訴え、国民的な規模で保全運動の展開を図っていくことを目的としています。

■編集・発行 富士山ボランティアセンター

山梨県南都留郡富士河口湖町船津6663-1
(富士山世界遺産センター北館内)
TEL: 0555-20-9229 FAX: 0555-72-4114
E-MAIL: fujisan@eps4.comlink.ne.jp

本誌のバックナンバーは下記よりダウンロードできます。

<http://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/newsletter/index.html>

富士山環境保全関連イベントのメールマガジンを希望する方は、「富士の国やまなし観光ネット 富士の国やまなしメールマガジン」の会員登録画面より登録してください。

<http://www.yamanashi-kankou.jp/maillmagazine/regist.html>